

身体的拘束最小化に係る取り組みについて

当院では、患者様の尊厳を守り、安全な医療を提供するため、原則として身体的拘束を行わない方針としています。

当院では、身体的拘束の最小化に向けて、以下の取り組みを行っています。

- 1 身体的拘束の最小化に関する方針を明確化し、職員へ周知及び院内へ掲示しています。
- 2 入院患者に関わる職員に対し、身体的拘束最小化に関する教育及び研修を継続的に実施しています。
- 3 身体的拘束最小化チームにより、用具の一元管理が行われるとともに、使用状況に基づく解除の提案等がなされています。
- 4 身体的拘束が行われている患者がいる場合、身体的拘束最小化チームによる巡回が定期的に行われ、病棟の職員等と共に解除に向けた具体的な検討が行われています。
- 5 身体的拘束を行わずにケアするための用具を職員から提案し、提案を積極的に導入する仕組みを整備しています。
- 6 身体的拘束の実施率について、院内及びホームページに掲示いたします。

令和 8 年 9 月 1 日

岩手県立山田病院長

令和 8 年度 岩手県立山田病院 身体的拘束実施率

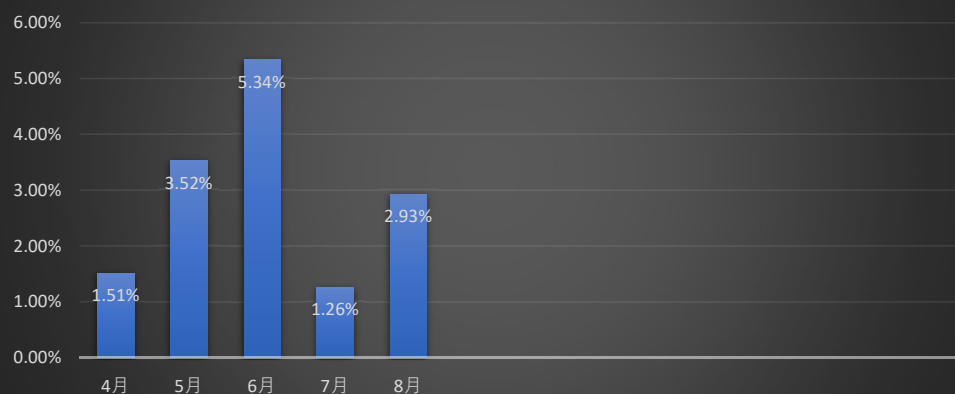
【病棟全体】

令和 8 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	直近 3 ヶ月平均
入院患者延べ人数	925	766	731	954	853								4,229	2,538
拘束患者延べ人数	14	27	39	12	25								117	76
身体拘束率	1.51%	3.52%	5.34%	1.26%	2.93%								2.91%	3.19%

【地域包括ケア病床】※地域包括ケア入院医療管理料を算定する患者に限る

令和 8 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	直近 3 ヶ月平均
入院患者延べ人数	663	635	626	769	747								3,440	2,142
拘束患者延べ人数	23	27	39	5	25								119	69
身体拘束率	3.47%	4.25%	6.23%	0.65%	3.35%								3.46%	3.22%

身体的拘束実施率（病棟全体）



身体的拘束実施率（地域包括ケア病床）

